

石川県七尾美術館だより

平成25年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第75号（秋号）



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

①	②	③
	④	
⑤	⑥	
⑦	⑧	

2013イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展

- ① 「ネズミのリンダバーク」 トーベン・クールマン（ドイツ）
- ② 「旅」 リチャード・ロサーサ（ペルー）
- ③ 「パズル」 マリアナ・リオ（ポルトガル）
- ④ 「わたしはみんなとちがう だからこそ幸せ」 パーサンスレン・ボロルマー（モンゴル）
- ⑤ 「語り部」 ペジューマン・ラヒーミーザーデ（イラン）
- ⑥ 「チルダくんはじめてのおつかい」 木村 環（日本）
- ⑦ 「空への旅」 ダニエル・ドルツ&ドリス・フライゴファス（ドイツ）
- ⑧ 「歯の狩人」 ジョ・ウォンヒ（韓国）

展覧会紹介

平成25年10月1日(火) ~ 12月28日(土)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2013イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展」

11月8日(金) ~ 12月15日(日)

【会期中無休】

◆第1・第2・第3展示室

毎年春に、イタリアの古都ボローニャで児童書専門見本市「ボローニャ・ブックフェア」が開催されます。1964年に始まった、このブックフェアは今年50周年を迎えました。会場では、世界中の出版社が絵本の版權を売買する一方、売り込みにやってくるイラストレーターたちで、いつも賑わっています。

「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」は、このブックフェアが主催する「子どもの本のための原画コンクール」の入選作品を紹介する展覧会です。

16歳以上の誰でも応募でき、出版経験のあるなしにかかわらず公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門ともなっており、1967年にコンクールが始まって以来、多くの絵本作家が誕生してきました。

コンクールでは「子どもの本」のために描かれ

た5枚1組のイラストが、絵本の専門家たちによって審査されます。

今年の審査員は、エティエンヌ・ドウルセル(イラストレーター/スイス)、タシエス(イラストレーター/スペイン)、マリア・グラツィア・マッズイテッリ(サラニ出版社/イタリア)、ジュンコ・ヨコタ(大学教授/アメリカ)、ギータ・ウオルフ(タラブックス出版社/インド)の5人でした。彼らは読者の創造性を引き出すイラスト、優れた絵本になる可能性のある作品を、世界64カ国、3147組の応募作品から選びました。

これらの入選作品はブックフェア会場にて展示され、多くの出版関係者の目に触れるだけでなく、終了後は日本に運ばれ、国内数カ所で展覧会が開催されます。そのため、入選作家は多くの人々に自身の作品を観てもらい機会を得ることができるのです。

1978年に日本に初めて紹介され、当館では1998年以降毎年開催し、今年で16回目を迎えます。

ヨーロッパ、アジア、中東、北米、南米、アフリカと世界の国々から集まった、日本人16作家を含む、24カ国、77組の作品の多様性を、お楽しみください。



「ゆめの国」
クリスティーナ・ブラッセラー (ドイツ)



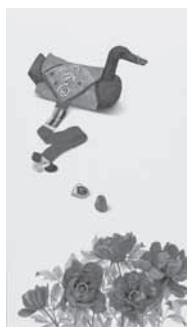
「自然の中にあるおもちゃ」
アンヌ・クロザ (スイス)



「カモフラージュ」
アンニカ・ジームス (ドイツ)



「動物王国」
ヴァレンティーナ・チーチ (イタリア)



「四月になると」
ジョ・ヨンキョン (韓国) マリア・クリスティーナ・プリテッリ (イタリア)

【特別展示】

「ボローニャ発世界へー絵本作家たちの挑戦」

近年、ボローニャ展への入選や、ボローニャ・ブックフェアでの編集者との出会いをきっかけに、絵本作家としてデビューする日本人イラストレーターが増加しています。

今年の特別展示では、ブックフェアをきっかけに海外から絵本を出版した日本人作家21名の絵本と原画を展示します。第1部は三浦太郎の特集展示です。過去のボローニャ展入選作品3タイトルを含む6タイトルの原画12点を紹介、第2部は人気作家今井彩乃や福井県出身の刀根里衣など20名の23タイトルを紹介いたします。

なお、この企画はボローニャ・ブックフェア開催50周年を記念して、ブックフェア期間中にボローニャ市立中世博物館で展示されたものです。

【映像コーナー】

今年1月に行われたボローニャ展作品審査会、3月に開催されたブックフェアの様子に、審査員や入選作家へのインタビューを交えて紹介します。

【絵本コーナー】

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガッツィ賞を受賞した世界の絵本、おすすめ絵本など約100冊をご覧いただけます。

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	800円	700円	300円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	350円	300円	



「ちいさなおうさま」(偕成社) 三浦太郎

おめでとう
ございます!!

2013 ボローニャ展 入選者インタビュー

昨年に続き、福井県出身の刀根里衣さん（ミラノ在住）が今年もボローニャ展に入選、しかも35歳以下の入選者から選ばれるSM出版賞も受賞!!刀根さんの絵本はヨーロッパ・アジア・アメリカの数カ国から出版されています。新作絵本を準備中の刀根さんにお話を伺いました。

Q. ボローニャ展に入選したご感想をどうぞ。

A. 「あれっ、名前がある」でした。感想というよりも、びっくりしました。

Q. ボローニャ展に応募したきっかけは?

A. 大学時代にボローニャ展の存在を知り、それから毎年美術館に足を運びました。「いつか入選したい、応募したい」と思っていたのですが、自分の実力があまりにも入選作品とかけ離れていたため、応募できませんでした。働きだしてから、一念発起して応募を始めました。とりあえず、応募しないことには入選はあり得ないと思ったので。最初の3年は落選でしたが…。

Q. 絵本作家になると決意したのは?

A. 漠然と絵の仕事をしたいと子どもの頃から思っていました。大学卒業後、とりあえずグラフィックデザイナーとして就職しましたが、何か違うと感じて退職し、イギリスへ行ったりと、いろいろな勝手な事をしていましたが、絵は常に描いていました。そんな時、ブックフェアでKITE（イタリアの出版社）に出会いました。決意というより「もしかしたらやっていたいけるかも」との思いで少しずつ始めました。最初は本当に不安定で「趣味の範囲でやった方がいいのか…」と悩みましたが、他にできることが無かったので、アルバイトをしつつ絵本をつくっていました。イタリアに行くことと決めたのは無謀でしたが、今では良かったと思っています。

Q. 初めての絵本を出版する際に、大変だったことは?

A. 特にありませんでした。初めての絵本はKITEから出版されましたが、原画はブックフェアでの売り込みの時点で全て完成していました。「何も変えずにそのまま出版したい」とのことだったので、変更を加えることなく、製本されるまで何もせずに1年待っていました。どちらかというと、出版社に出会うまでが大変でした。

Q. 様々な国の人達に絵本を読んでもらえる喜びって?

A. facebookにいろんな言語でメッセージが届き、写真も載せてくれるので嬉しいです。あと、出版社から各国語版が届き、自分の本棚に並べる瞬間も。イタリアは作者と読者の距離が本当に近く、ワークショップで会った瞬間友達になれるのがイタリアらしいなと。

Q. 絵本作家を目指す人たちにアドバイスををお願いします。

A. 待っていても何も起こらないので、とりあえず行動して、いろんな失敗や経験をしていくといいのかな…と。あとは、自分と作品を甘やかさないことです。



←「かえるのびっぽ」刀根里衣（日本）



ほかにもいろいろ・・・

また、毎回好評の絵本販売コーナーでは、今年の入選作家による絵本や輸入絵本も販売いたします。人気商品は展覧会終了前に売り切れてしまうこともありますので、どうぞお早めに!

●●ボローニャ展関連イベント●●

◆絵本アニメ上映会◆【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11/9（土）、10（日）、16（土）、30（土）、

12/7（土）、14（土）、15（日）

※11/10（日）は午前のみ、12/15（日）は午後のみ

時間 11:00～11:40、13:00～13:40

会場 アートホール

◆かんだん絵本を作ろうよ!◆【要観覧券】

不要となったポスターなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00～16:00

対象 4歳～小学生（未就学児は保護者同伴）

定員 各日10名（要申込、先着順）

持ち物 不要なポスターなど

協力 絵本の会 もこもこ
会場 展示室内

◆「のまりん」の紙芝居劇場◆

紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

開催日 11/23（土・祝）

時間 11:00～11:40、13:00～13:40

出演 のまりん（野間成之氏）

会場 アートホール

◆ナイトミュージアム◆【要観覧券】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」と思っている方、ご家族のための時間です。

日時 11/30（土）、17:00～20:00

対象 高校生以下の子どもを含む家族

定員 10家族（要申込、先着順）

※展示室が若干賑やかになる可能性があります。

◆おはなし劇場◆【要観覧券】

絵本の読み聞かせや、人形劇、パネルシアターの上演で、皆さんを物語の世界へご招待します。簡単な手作りコーナーもあります。

開催日 12/8（日）

時間 10:30～11:30、13:00～14:00

協力 NPO法人 ぽっかぽか

会場 休憩コーナー

申し込み受付は10/26（土）9:00より電話にて

★絵本だけじゃない! 今年もお楽しみりボローニャ展グッズ★

図録や出品作品のポストカードはもちろんのこと、ボローニャ展ゆかりの作家によるステーションナリー（ペンケース、クリアファイル、メモパッド、レターセット）、オリジナルスケッチブックやTシャツなども販売いたします。

大名行列がやってきた！

— 優品にみる加賀藩 —

9月21日(土)〔開催中〕～10月27日(日)

※本展記事掲載作品は全て石川県立歴史博物館蔵です。

◆第2展室

【生まれ変わる歴史博物館】

金沢の名勝・兼六園に隣接する「文化ゾーン」の地に建つ石川県立歴史博物館。緑豊かな本多の森公園の中に、ひととき輝く赤煉瓦の建物が目にも鮮やかな、石川県を代表する博物館です。

同館は、昭和43年(1968)に旧第四高等学校を利用して開設した郷土資料館を前身とし、昭和61年に歴史博物館として新しくオープンした施設。館のシンボルともいえる赤煉瓦棟は、明治時代末～大正時代初期に建造され、戦前は旧陸軍兵器庫、そして戦後は金沢美術工芸大学として使用されていた由緒ある建造物

(国指定重要文化財)です。

「加賀藩大名行列図屏風」(右隻)

開館以来、石川県の歴史や文化を守り、後世に伝えることを目的として、約30年間にわたり、関連資料の収集や研究、展覧会や講座などの実施等、様々な活動を行ってきた同館。「れきはく」のネーミングで、県民をはじめ多くの人びとに親しまれています。

そして今回、多様化するニーズに対応し、よりわかりやすく、より親しみやすく歴史や文化にふれてもらうこと、そして施設の修復などを目的として、展示室

を中心に館全体のリニューアル工事が実施されることになりました。

新しい博物館のコンセプトは、①「誰もが楽しく学べる博物館」②「ゆったりくつろげ、交流を育む博物館」③「人にやさしい博物館」。この3点を目標に、ジオラマや大型スクリーンを使用した体感展示や特別展示室の拡張、サロンやフリーゾーンの設置などが行われます。また、本多蔵品館が館内に移転し、歴史博物館と連携した総合的な「加賀武家文化」の紹介が行われることになるのも、大きなポイントです。

リニューアルオープン予定は平成27年の春。ちょうど、北陸新幹線の金沢開業と同じ時期で、否が応でも期待が高まります。

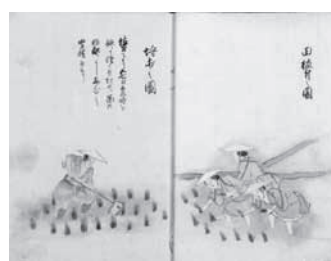


「白糸威二枚胴具足」

「大名行列がやってきた！」展とは？

歴史博物館はリニューアル工事のため、平成27年まで全館休館しています。つまりその間は、同館の所蔵品を鑑賞することができないということになるのですが、その代わり、県内の3博物館(小松市立博物館・石川四高記念館・当館 ※小松展は終了)を会場に「リニューアルオープンプレ企画展」として出張展覧会を計画。同館の多彩で優れた所蔵品を鑑賞したい、という要望に応えることとなりました。

その内、当館での展示テーマは「加賀藩」です。加賀藩は前田利家(1538～99)を初代として、14代・江戸時代約260年間にわたって加賀・



上「能登国探魚図絵」
下「民家検券図」
共に部分・石川県指定文化財

能登・越中3国にわたる広大な領土を統治した大藩として知られます。百万石を超える石高は徳川家を除けば全国一であり、外様最大の大名として盛名を博しました。そのため、徳川将軍家との姻戚関係も深く、幕府や朝廷においても高い地位を保持しています。

加賀藩は「十村制度」の導入や、農政の大改革「改作法」の実施などによって藩基盤の強化を図る一方、その豊富な財力を惜しみなく投入して、様々な文化活動を奨励しました。特に名君として知られる五代藩主綱紀(1643～1724)は、学問や美術工芸の振興・普及に力を入れ、当代一流の学者や知識人、そして名工たちを盛んに招聘。藩主自らも学問研究に力を入れて貴重な書籍や資料を収集、その見事な様は「加賀は天下の書府」と称されるほどでした。そして、その伝統は以後も脈々と受け継がれ、今に至るのです。現代でも金沢は「加賀百万石のまち」という如く、街中を巡ればあちらこちらでその名残を見出すことがで

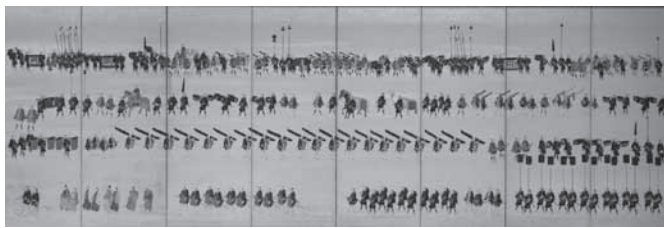


上「軍扇」左「金采配」
共に長家伝来・石川県指定文化財



「小塚内匠助画像」
石川県指定文化財

計40点を紹介。華やかさでは随一と謳われた加賀藩の大名行列を、確かな考証と細密な筆致で描いた「加賀藩大名行列図屏風」を筆頭に、武士たちを彩った武具や煌びやかな工芸技法で制作された調度、そして民衆のくらしぶりを生き生きと表現した絵画など、多彩な顔ぶれが揃います。また、開催地の当館が能登であることにちなんで、能登関係の品々が中心に展示されていますので、特に能登の人は注目の内容といえるでしょう。ぜひこの機会に、身近な地元の歴史、そして文化にふれてみてはいかがでしょうか。



「加賀藩大名行列図屏風」(左隻)

きるでしょう。
現在の金沢、そして石川・富山県の礎を形作ることもなった加賀藩。石川県立歴史博物館には、加賀藩に関する作品や資料が、数多く所蔵されています。政治・経済・文化と多岐にわたるそれらの品々には、200年以上にわたって当地を治めた巨大組織の在りし日の姿が、まざまざと記録されているのです。
本展では、それら加賀藩にまつわる貴重な作品・資料を①「太平の世と武士」②「華ひらく技と美」③「景勝とくらし」の3テーマで

《関連事業》

※いずれも事前申し込みは不要です。

●講演会【聴講無料】

日時 10月5日(土) 午後2時～

会場 当館アートホール

講師 瀬戸 薫氏(富山高専専門学校教授)
演題 「前田利家と能登七尾」

●ギャラリートーク【要観覧券】

日時 10月19日(土) 午後2時～

会場 当館第2展示室

講師 北春千代氏(石川県立歴史博物館学芸主幹)

●ワークショップ

「たいけんーはっけんー江戸時代」【要観覧券】

日時 会期中の土曜・日曜および祝日

午前10時～午後4時

会場 当館第2展示室横休憩コーナー

※「へんしんコーナー」や「からくりコーナー」で江戸時代を体験できます。



●クイズラリー【小中学生対象・参加無料】

日時 本展会期中開館時間内随時

会場 当館第2展示室



「秋草図時絵印籠」

同時開催
漆の美「ジャパン」という名の工芸

◆第1展示室

漆器のことを「ジャパン」という如く、日本人にとって漆は非常に身近な存在です。強靱でしかも美しい材料として、生活用品のみならず美術工芸品にも幅広く取り入れられてきました。
本展では、池田文夫氏(1907～87)が蒐集した「池田コレクション」を中心として、当館所蔵品より様々な漆工作品を紹介しています。



「葡萄時絵鉢子」
(池田コレクション)



「瑞象馬」 番浦省吾

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	350円	280円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	280円	280円	220円

当館所蔵品貸出情報(10月1日現在)

- ① 絵画「雪中美人図」 宮川長春筆 1幅
- ② 絵画「納涼美人図」 宮川長春筆 1幅

※両作品とも「池田コレクション」

展覧会名 「特別展 宮川長春」

会場 大和文華館(奈良市学園南二丁目)

会期 10月12日(土)～11月17日(日)

0742(45) 0544



「雪中美人図」
宮川長春
(池田コレクション)

市民ギャラリー催し物案内

ふえきよう
傳益瑤・日本の祭り絵能登展

10月9日(水)～14日(月・祝)

中国出身の水墨画家、傳益瑤氏による日本各地の祭りをモチーフにした絵画約40点を展示します。「青柏祭」、「飯田燈籠山祭り」、「輪島大祭」、「あばれ祭り」など能登を代表する祭りも描かれています。この機会にぜひご覧ください。

主催 能登半島広域観光協会・七尾市観光協会
連絡先 七尾市観光協会
☎0767(53) 8424

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

10月17日(木)～20日(日)

初日は午後1時から
最終日は午後4時まで

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子どもたちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひご覧ください。10月20日10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 (財)エム・オー・エー美術・文化財団
連絡先 MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会
☎0767(53) 3914

第9回七尾市民文化祭

第8回 彩の会 & 写団のと展

10月25日(金)～27日(日)

最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第8回合同展を開催します。計25人の会員が近作約80点を展示発表いたします。どうぞご覧ください。

主催 七尾市文化協会
連絡先 彩の会 加地求 ☎0767(52) 1613

伝われ感動・未来の等伯

第59回 七尾市美術展覧会

11月1日(金)～4日(月・振休)

最終日は午後4時まで

一般の部「日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真」、ジュニアの部「絵画・習字・写真」の公募による美術展覧会です。個性あふれる作品をぜひご覧ください。入賞者表彰式

11月3日(日) 美術館アートホール
ジュニアの部 午後1時30分より
一般の部 午後3時より

主催 七尾美術作家協会(会長・吉田隆)
連絡先 内藤雄鶴 ☎0767(52) 4755

第70回 北國写真展七尾展

12月21日(金)～23日(日)

今回めでたく70回目の節目を迎えられたことを祝福したい気持ちです。また、69回のドラマが繰り広げられたことに感激をめぐえません。これから先どんな素晴らしいドラマが展開されるのか夢と期待で胸がいっぱいです。迄ご期待。

主催 北國写真連盟、北國新聞社
連絡先 宮崎 功 ☎090-4320-2178

アートホール催し物案内

第11回日本医療マネジメント学会

石川支部学術集会

10月12日(土) 開演 午後1時45分

医療関係者や一般の皆様が対象の医療現場における課題について研究・提案する学術集会です。今回は「地域における医療連携」をテーマとし、特別講演は恵寿総合病院の取り組みについてご講演いただきます。ぜひご参加ください。

入場料 1,000円
主催 日本医療マネジメント学会石川支部

連絡先 市立輪島病院 事務部 木下 充
☎0768(22) 2222

第9回 室岡ピアノ教室発表会

10月13日(日) 開演 午後2時

輪島市内でピアノ教室を開いています。19名の生徒たちの演奏の他、ゲストの方々によるマリンバやフルート、アンサンブル演奏も予定しています。アットホームな楽しい発表会となるよう、生徒一同頑張ります。

主催 室岡ピアノ教室 代表 室岡佐智子
連絡先 ☎0768(46) 2326

寺町サミットin七尾開催記念
「複製 松林図屏風」公開

10月25日(金)～26日(土)

開場 25日(金) 午前9時
26日(土) 午前10時

寺院を生かしたまちづくりに取り組み8つの都市が集まり、山の寺院群を会場に「寺町サミットin七尾」が開催されることを記念し、「複製 松林図屏風」を2日間限定で公開いたします。サミット参加者以外の方もご覧いただけます。

主催 寺院群都市会議・第19回寺町サミットin七尾実行委員会
連絡先 七尾市観光交流課
☎0767(53) 8424

第9回七尾市民文化祭

第3回 七尾まだら伝承会発表会

10月27日(日) 開演 午後1時30分

会員の日頃の練習の成果(七尾まだら)を発表するとともに、小丸山保育園、本宮保育園、また今回は富山県の福野民謡会の協力を得て、まだら、こきりこ他を行います。2年に1度の発表会です。お気軽にご来場ください。

主催 七尾市文化協会

主 管 七尾まだら伝承会
連絡先 小谷内和夫 ☎0767(68) 3443

等伯に寄す きもの着付ショー

11月2日(土) 開演 午後1時30分

きものを着る、着せる。等伯に寄すきもの着付ショーを開催します。等伯を偲び往時の時代衣装をきもの着付を通じて表現します。振袖のしぐさや袖の扱い方のマナー等も取り入れたきものショーです。ぜひご来場ください。

主催 七尾市文化協会
連絡先 山原昌雄 ☎0767(52) 1625

映画「うまれる」自主上映会

11月4日(月・振休) 開演 午前10時
午後7時

映画「うまれる」は命を見つめる4組の夫婦の物語を通して、自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がりを考えるドキュメンタリー映画です。能登では初めての上映です。
入場料 高校生以上 1,000(800)円
中学生以下 500(400)円
※()は前売料金

主催 母乳育児サークル ハッピーマザー

連絡先 稲田薫 ☎090-8968-4542

石川県民公開講座

かむかむパワーで脳活性

11月10日(日) 開演 午後1時30分

「かむ」ことができるためには、健康な口腔が必要です。虫歯や歯周病になると「かむ」という行為が損なわれてしまいます。講演では食べる(かむ)ことと脳との興味深い関係をうかがいます。

主催 石川県歯科医師会・七尾市歯科医師会
連絡先 石川県歯科医師会
☎076-251-1010(代)

doice ピアノコンサート 無料入場

11月17日(日) 開演 午後1時30分

保育園から大人まで年に一度のピアノ発表会です。今回はフリーアナウンサーの平見夕紀さんによる「くるみ割り人形」の読み聞かせと生徒たちがコラボ演奏をします。他にジャズもします。どなたでもお気軽にどうぞ。

主催 ピアノグループ doice

連絡先 井藤真理 ☎0767(58) 1253

第31回青柏民謡発表会「温習会」 無料入場

11月24日(日) 開演 午後0時

芸能文化である民謡の伝承・発掘し、地域文化向上を目的として、会員の日頃の練習成果を発表します。唄と踊り盛り沢山です。どうぞ皆様お誘い合わせご来場ください。

主催 青柏民謡会

連絡先 中西清一 ☎0767(62) 3178

ピアノチェンソート

12月1日(日)

開演 第1部 午後1時

第2部 午後3時30分

第1部は、ピアノの発表会です。どなたでもご入場いただけます。第2部は、有料の演奏会になります。フルートと声楽とピアノの演奏をお楽しみください。

入場料 第1部 無料

第2部 1,500円

主催 「ピアノチェンソート」実行委員会

連絡先 松本 ☎0767(54) 8684

182回例会 人形劇団むすび座

「The Wish List」(ウィッシュリスト) 限定会場

《小学校高学年〜大人向け》

12月14日(土) 開演 午後7時

多感な思春期の子どもたちが心揺さぶ

られる人形劇！生きる意味・友情・生や死などを考えさせられる作品。人生はいつでもやり直せる！人は人と出会って自らを再生できる！刺激的な造形とダイナミックな音楽も見どころ♪

(当日入会の方も入場できます。)

主催 七尾子ども劇場

連絡先 打越 ☎090-2831-9259

大窪 Email: tomoe@notonet.com

ちびっこ発表会 無料入場

12月15日(日) 開演 午前9時30分

クリスマス発表会を開催します。0歳児から5歳児まで各年齢ごとの楽しい発表から園児の成長がみられることと思います。保護者の皆さんはもちろん、関心のある方はぜひご来場ください。

主催 社会福祉法人小丸山保育園 島崎

☎0767(53) 3700

おたのしみ会 無料入場

12月21日(土) 開演 午前9時30分

子どもたちが、楽器演奏や和太鼓、劇あそび等を発表します。子どもたちが表現する喜びを感じ、保護者の方々が子どもの成長を感じられる会にしたいと考えています。ぜひご覧ください。

主催 ひまわり保育園

☎0767(57) 2800

第15回 メロディ音楽会 無料入場

12月22日(日) 開演 午後1時30分

2年に1回開かれる発表会です。お馴染みのクラシックからポップス、アニメソングまで生徒たちがお気に入りの一曲を演奏します。どうぞお気軽にご来場ください。

主催 松本由美子門下生

連絡先 松本由美子 ☎0767(53) 7068

「長谷川等伯展」&

催し終了報告

◆去る8月10日から9月16日まで、毎年恒例の「長谷川等伯展」大徳寺と等伯を中心に「」を開催、等伯の作品と共に、大徳寺を中心とした等伯の人脈も紹介しました。



開会式のテープカットにはゆるキャラの「とうはくん」も加わり、天神山小学校の5年生の皆さんも参加していただき、楽しい式となりました。

昨年、安部龍太郎氏が小説『等伯』で直木賞を受賞されたこともあり、今年は全国から新たな等伯ファンが来館されたようでした。

また、会期中には様々な関連催しも開催され、多くの来館者で賑わいました。

★8月18日に開催した「特別講演会」では、日本障壁画研究の第一人者・武田恒夫氏(美術史家)が、等伯の障

屏風の画体を中心に貴重なお話をしてくださり、118人が聴講しました(次号で詳しく報告します)。

★8月25日に開催した「二人語り芝居」等伯と静寂のもののべ」では、迫真の語りと芝居に絶妙な竹による音が加わり、136人の来場者を魅了しました。



★9月1日に開催した「スペシャル講座」には、16人が参加されました。県外からの参加が多く、等伯への関心の高さに驚きました。講座中は裏話も飛び出し、展覧会を更に楽しくご覧いただけたのではないでしようか。

★オーケストラ・アンサンブル金沢の設立25周年記念 県内縦断コンサートとして9月8日に開催した「等伯とOEK」時代を超えた共演」では、OEKメ

ンバーが、等伯作品のイメージから選曲したクラシック音楽を演奏、202人が酔いしれました。





これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

平成25年12月21日(土)～平成26年2月16日(日)

「織部・その自由な意匠」～池田コレクションから～

多種多様な桃山時代のやきものの中でも、奇抜さにおいて一際異彩を放つ「織部焼」。あらゆるモノを表現の糧として取り込み、歪んだ器や摩訶不思議な意匠など、次々とパワーあふれる傑作を生み出した桃山人たちのエネルギーには圧倒される思いです。

本展では、当館所蔵品の中核「池田コレクション」より様々な「織部」を展示、400年前のやきものとは思えないその斬新で多彩な世界を紹介します。



「織部亀甲文富士形小手鉢」
(池田コレクション)



「織部蓮花文六角台鉢」
(池田コレクション)

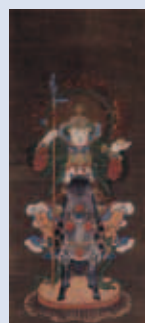


「織部柳文筒向附」
(池田コレクション)

「祈りの美術」～古美術絵画を中心に～(仮称)

人は生きている以上、必ず何かしらの「願い」や「悩み」を持っています。そして、その思いが少しでも成就されるようにと、祈りを捧げます。それは昔も今も同じであり、古より神仏や人、動物といった実に様々な「祈りの対象」が絵画や彫刻などで表され、人びとの心を癒してきました。

本展では、当館所蔵品などより祈りに関する作品を、古美術絵画を中心に紹介します。長谷川等伯の若年期「信春時代」制作の仏画「愛宕権現図」も展示いたしますので、お楽しみに。



「愛宕権現図」
長谷川信春(等伯)

「涅槃図」
長谷川等誓

◆第1・2展示室

平成26年3月1日(土)～4月6日(日)



「稲架木ならび」
村田省蔵

「みちはつづく」

痕跡としての「みち」、これから進むべき「みち」など、「みち」に関係した作品を様々なジャンルで紹介します。

「新収蔵品展」

当館の631点の所蔵品から、近年新たに収蔵された作品を紹介します。

ボランティアしてみませんか？

お客様が鑑賞しやすいように目配りしていただき、時には、マナーについての声掛けなどもしていただいています。現在40名の皆さんが楽しく、無理なく活動しておられます。詳しくはお電話で。どうぞお気軽にお問い合わせください。



場所：七尾美術館の展示室内

活動：9時～13時と13時～17時(半日交替)

◆10月～12月の休館日◆

10月 7, 15, 21, 28～31

11月 5～7

12月 16～20, 24, 29～31

◆開館時間◆

午前9:00～午後5:00

(入館は午後4:30まで)



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港からのと里山海道利用約45分
車………金沢からのと里山海道利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩………JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号

…JR七尾駅前「ミナ、クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
なおコミュニティバスぐるっと7

…JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

◎次号・第76号(冬号)は1月1日発行予定です。